

2面からのつづき

愛知県豊橋市
住吉 政浩



この度、秋篠宮皇嗣殿下ご接見の栄を賜りまして、心より感謝申し上げます。

で迎いました。バスの中はにぎやかでしたが、ご接見会場に入ると急に張りつめた空気に変わりました。皇嗣殿下が入場され、ご接見が始まりました。長寿善行者の皆様は長年続けられてきたことを申し上げ、皇嗣殿下はその一人一人に丁寧にお言葉をかけられました。ついに私の番になり、起立して待ちました。「どんなことをおやりになりましたか」とお尋ねになりましたので、私は緊張しつつお答えしました。最後に「これからも続けて下さいね」と励ましのお言葉をいただきました。

東京都西東京市
元角 昌三



未曾有の災害をもたらした事が信じられない位の素晴らしい秋空の下、明治記念館に集合、この日、同じ榮譽に浴する選ばれし皆様と一緒に記念写真、会食とスケジュールが運ばれ、令和元年、秋篠宮皇嗣殿下からの初の御接見、用意されたバスで赤坂御所の赤坂東邸にご案内戴き、しばしの待機のうち、皇嗣殿下が入場、私達の前にお立ちになられました。そのお姿は高貴で穏やか、やさしさに溢れ、柔和な眼差

東京都板橋区
石井 幸雄



秋晴れの爽やかな日に赤坂東邸へお招きいただき、秋篠宮皇嗣殿下のご接見の栄に浴することができましたこと、心より御礼と感謝を申し上げます。

しておりまして、地域の青少年健全育成活動にも力をいれていますと、お答えいたしました。殿下より、「保護司は大変なボランティア活動ですが、最近では保護司さんが少なくなっているようです。大変でしょうが、これからも頑張ってください」とお声を掛けていただき、感激いたしました。私は殿下からの御言葉を励みに、これからも保護司を通じて、地域に密着した奉仕活動をしていこうと強く心に刻みましました。

愛媛県四国中央市
野村 勝廣



勝野会長の挨拶、相澤副会長の活動報告ののち、前列に並ばれた方に順次直接お声掛けをされ、私の目前にいられた時には只々、感動で胸がいっぱいになりました。昨年、地元地域支部を立ち上げ仲間の方々と一緒に善行活動を推進している事をお話ししました。秋篠宮皇嗣殿下におかれましては、即位礼正殿の儀、そして幾日にも及ぶ饗応の儀と誠に多忙の時に御接見戴き感謝申し上げます。久しくお健やかに私どもを慈しみ励ましてもらえますことをお祈り申し上げます。善行会事務局の皆様、全国の日本善行会の皆様、感謝申し上げます。ありがとうございました。

北海道釧路市
伊藤 博志



私は、三十二年にわたる青少年の健全育成を願ってまいりました。この度、赤坂東邸に招かれて秋篠宮皇嗣殿下にご接見の栄を賜り、このような機会を設けていただきました。関係者の皆様から感謝申し上げます。

北海道から唯一人の出席でしたが、殿下から心温まるお言葉をいただき、「これからも頑張ってください」と励ましを頂戴しましたことは、生涯忘れることのできない感謝の出来事であり、なお一層の努力を誓った次第です。青少年を取り巻く環境は、時代とともに大きく変化しております。そのようなかで、私たちに何ができるのかを自問自答しながら、今後でもできる限りの活動をしていく所存でございます。本当にありがとうございました。

福井県勝山市
松山 正則



本日、秋篠宮皇嗣殿下のご接見の栄を賜り心から感謝申し上げます。緊張感の内に赤坂東邸に入室し、秋篠宮皇嗣殿下のお言葉の後、順に接見させて頂きました。殿下から「どのような活動をされましたか」と尋ねられました。

「私は福井県恐竜の町、勝山市から参りました。青少年健全育成の一環として補導活動をしていす。特に市のイベント時や各地域のお祭り・勝山左義長祭りの時には街頭補導を行っています。」とお答えしました。殿下より温かい励ましのお言葉をいただき、感無量でした。

芸能奉仕団
活動報告

東京都江戸川区
塚本 邦昭

日本善行会芸能奉仕団団員でもあり、芸能ボランティア団体、あすなろ会、左真紀一座の座長を務めております。昭和四十二年三月、二十五歳で設立時に首を突っ込んで以来、健康に恵まれて、家族の理解良き仲間達、旧会員、ゲスト出演の方々のお力添えを頂き、関東一円の高齢者施設並びに町会、敬老会を専門に公演して、五十二年、今日まで(十月末日)一八九九回、二〇〇〇回公演を目指しております。



令和元年7月15日 千葉市花見川区
晴山会ケアセンターにて

支部だより

岩手県宮古支部

全国一斉の赤い羽根
共同募金の街頭募金の
奉仕について

十月三日午前十時、西村支部長をはじめ支部役員(久保田副支部長、吉田監事及び白根事務局長)で、街頭に立つて市民の



皆様には赤い羽根共同募金の協力について呼びかけの奉仕をおこないました。

4面へつづく



令和元年7月7日 千葉県習志野市
養護老人ホーム白鷺園にて

「年はとるとる、みんなとる、誰でも同じ、年をとる、どうせとるなら元氣よく、楽しく年をとりますよ」。平成三十年日本の平均寿命(男性八十一歳、女性八十七歳)平成三十年日本の健康寿命(男性七十一歳、女性七十四歳)